

アルドミン[®]錠A

使用上の注意

してはいけないこと（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

1. 次の人は服用しないで下さい。（1）本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。（2）本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい（眠気等があらわれることがあります）。4. 服用前後は飲酒しないで下さい。5. 長期連用しないで下さい。

相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。（1）医師又は歯科医師の治療を受けている人。（2）妊婦又は妊娠していると思われる人。（3）高齢者。（4）薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。（5）次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので直ちに服用を中止し、この外箱を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この外箱を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

効能又は効果

- 1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛（のどの痛み）・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざにともなう痛み（ねんざ痛）・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
- 2) 悪寒（発熱によるさむけ）・発熱時の解熱

用法及び用量

大人（15歳以上） 1回 4錠

1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用する。服用間隔は4時間以上おくこと。

*（1）用法・用量を厳守して下さい。（2）15歳未満の小児は服用しないで下さい。

成分及び分量（12錠中）

アセトアミノフェン900mg、エテンザミド800mg、アリルイソプロピルアセチル尿素 180mg、無水カフェイン 180mg、カンゾウ末 150mg、シヤクヤク末 200mg

添加物：バレイシヨデンプン、セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースCa、タルク、ステアリン酸Mg

保管及び取り扱い上の注意

（1）直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。（2）小児の手の届かない所に保管して下さい。（3）他の容器に入れ替えないで下さい（誤用の原因になったり品質が変わります）。（4）使用期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。

お問い合わせ先

発 売 元：ゼネル薬品工業株式会社

電話番号：06-6352-2381

受付時間：9時から17時まで（土、日、祝日を除く）

発 売 元 ゼネル薬品工業株式会社 大阪市北区天満3丁目6番1号

製造販売元 ゼネル薬工粉河株式会社 和歌山県紀の川市粉河840番地

（リサイクルマーク）（紙）

製造番号

使用期限

副作用救済制度

電話0120-149-931

ZENEL

痛

生薬配合 シャクヤク末・カンゾウ末

腰の痛み
関節の痛み
神経痛

36錠

第②類医薬品

アルドミン[®]錠A

発売元 **ゼネル** 薬品工業株式会社
大阪市北区天満3丁目6番1号



製造販売元 **ゼネル** 薬工粉河株式会社
和歌山県紀の川市粉河840番地

お問い合わせ先
電話06-6352-2381
受付時間:9時から17時まで
(土、日、祝日を除く)



効能又は効果

- 1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛(のどの痛み)・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざにともなう痛み(ねんざ痛)・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 2) 悪寒(発熱によるさむけ)・発熱時の解熱

保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。(3) 他の容器に入れ替えないで下さい(誤用の原因になったり品質が変わります)。(4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。

製造
番号
使用
期限

腰の痛み・関節の痛み・神経痛

アルドミン[®]錠A

第②類医薬品

副作用救済制度 電話0120-149-931

用法及び用量

大人(15歳以上) 1回.....4錠

1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用する。

服用間隔は4時間以上おくこと。

*(1)用法・用量を厳守して下さい。(2)15歳未満の小児は服用しないで下さい。

成分及び分量(12錠中)

アセトアミノフェン900mg、エテンザミド800mg、アリルイソプロピルアセチル尿

素180mg、無水カフェイン180mg、カンゾウ末150mg、シャクヤク末200mg

添加物:バレイショデンプン、セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメ

ロースCa、タルク、ステアリン酸Mg

⚠ 使用上の注意

❌ **してはいけないこと** (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい。(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。2.本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬 3.服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい(眠気等があらわれることがあります)。4.服用前後は飲酒しないで下さい。5.長期連用しないで下さい。

🌿 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。(3)高齢者。(4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(5)次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2.服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので直ちに服用を中止し、この外箱を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3.服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。眠気

4.5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この外箱を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

開
け
口

